

# 平成23年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	宮崎県市町村地域自殺対策緊急強化事業		基本目標	予防医療体制の整備		
担当課(局)・係	健康福祉課	健康推進係	記入者	上杉 悦子	評価者	井上 敏郎
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください					
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)				

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を) 町民に対し、自殺防止に関する普及啓発活動					
	意図・目的 自殺者を減少させる。					
事業の内容	自殺対策会議(いりり端会議)開催、自殺予防フォーラムの開催、「町の駅」にうつ予防に関するパンフレットを配布					
22年度決算額	321	千円	23年度予算額	281	千円	事業従事者数 H22 0.08 人 H23 0.09 人
主な支出項目	報償費	192	千円	国庫支出金		22年度人件費 576 千円
	需用費	101	千円	県支出金	281	千円
	使用料	29	千円	地方債		23年度人件費 657 千円
			千円	一般財源		23年度予算額における一般財源の割合(H23) 0.0 %
		千円				根拠法令・要綱等があれば記載してください
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input checked="" type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名 宮崎県市町村地域自殺対策緊急強化事業補助金		
	補助交付団体			補助金要綱		
	22年度	補助額	320,982 円	補助の形態	運営費補助	23年度補助額 280,905 円 終期 H23 年度
		団体の決算額	320,982 円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等		
	補助の割合	100.0 %	H23年度までの補助事業ですが、H24年度からは町単独での実施が必要な事業です。			
	繰越額	0 円				

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 自殺者数の減少	自殺予防に関する普及啓発活動により、自殺者の減少を図る。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 いりり端会議開催	町民で構成する会議であり毎月1回開催する。
	2 自殺予防フォーラム開催	いりり端会議の実行委員の活動を報告する。
	3	

## ◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度	
成果指標	自殺者数の減少	目標値	3	3	3	
		実績値	7	13		
		達成率	%			
	いりり端会議参加者数	目標値			100	100
		実績値			91	
		達成率	%	#DIV/0!	91.0%	
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標	いりり端会議開催	目標値		12	12	
		実績値		12		
		達成率	%	#DIV/0!	100.0%	
	自殺予防講演会	目標値	回	0	0	1
		実績値			0	
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
自殺予防フォーラム	目標値	回		1	2	
	実績値			1		
	達成率	%	#DIV/0!	100.0%		

事務事業名	宮崎県市町村地域自殺対策緊急強化事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	--------------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数		
		自己評価	委員評価	
妥当性 (必要性)	自殺者を減少するため、取り組む必要がある事業である。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	0	-
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
		◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	自殺者の減少とはなっていないが、普及啓発を続けることが必要である。	◎目標に対して成果は得られているか	1	-
		◎すでに目的は達成されていないか	2	-
効率性	いろいろ端会議は、毎月開催され、実行委員の情報交換やフォーラムの企画ができています。また、新メンバーの参加がある。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
		◎費用対効果が十分に認められるか	2	-
協働性	いろいろ端会議では、町民が事業を運営している。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	1	-
		合計(最高18点)	14	-

※町補助をしている場合のみ記入

公益平性 (公益性)		◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		-
		◎町民の理解が得られる事業であるか		-
		合計(最高4点)	0	-
その他				

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	評価内容	今後の方向性																				
			拡充	現状維持	縮小	廃止																
	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	<p>全国で毎年3万人を超える自殺者が出ており、これをいかに減少させるかが国民的課題となっている。「自殺」は重いテーマであるが、少しでも多くの人に共に考える機会を提供することによって自殺防止につなげることができ、継続して地道に実施すべき事業である。</p> <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>コスト</p>	拡充			○		現状維持					縮小					廃止				
拡充			○																			
現状維持																						
縮小																						
廃止																						

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎事業の更なる拡充も必要と考えるが、費用対効果が目に見えにくいため現状維持と考える。 ◎啓発事業としては、現在のご時世、取組を強化してもらいたい。 ◎補助がなくなったあとの事業展開を十分計画立てていかなければならない。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	